

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 28 年 (2016)
皇紀 2676 年

平成 28 年 新春号 【第 104 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

年頭所感	2 頁
新春初詣	3 頁
御鎮座 950 年式年奉祝記念事業	4 頁
早春の行事	6 頁
杜の話題	8 頁
第 2 回フォトコンテスト入選作品発表	11 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	12 頁
正月社頭風景	14 頁



御鎮座九百五十年式年奉祝記念事業 大宮八幡宮振武殿 屋根葺替増改修工事竣工 神殿遷座祭

大宮八幡宮振武殿は、昭和15年に額殿として建てられ、戦後は幼稚園園舎となり、現在は弓道場として活用されています。神域にある弓道場としては都内でも有数の道場で、小笠原流大宮支杖場でもあり、大宮八幡宮振武会が中心となって多くの門人たちが連日早朝より夜遅くまで稽古に励んでいます。当宮の春秋の大祭には、奉納射会を開催しています。昨年5月より増改修工事が始まり9月1日には、朔旦祭に併せて弓道場振武殿屋根葺替増改修工事竣工清祓奉告祭を斎行。次いで振武殿にて清祓の儀が宮司奉仕にて行われました。続いて午後3時より御本社にて振武殿神殿遷座奉告祭が行われた後、振武殿神殿の正遷座祭を奉仕、絹垣で覆われた『御』は、振武殿の神殿へとお遷りになり遷座奉告祭が振武会弓道門人の見守る中斎行されました。



屋根葺替増改修竣工



神殿遷座祭

御鎮座九百五十年記念事業 ご奉賛のお願い

緑豊かな、都心の杜に静まり氏子崇敬者の心の故郷であります当宮は、平成25年、御鎮座九百五十年式年の佳年を迎え、式年大祭並びに式年奉祝大祭が厳粛に賑々しく斎行されました。

この意義ある式年の佳節に当たり、私共の遠い父祖の代より氏子の人々がその時々にご神恩に感謝しつつ、一つ心に赤誠を尽くして営々と努力され、鎮守の杜に相応しく社頭を整備して今に残して下さっているのではありません。私共も先人に見習い、これから続く子や孫の為に意義ある記念事業を実施して、氏神信仰に受継がれてきた尊い伝統を次世代へ継承し、報恩感謝の真心を捧げて参りたいと念願致し、平成24年に奉賛会を結成し奉賛金勸募活動を実施致しております。

つきましては式年大祭はもとより奉祝行事や、御鎮座九百年以降の境内整備の集大成と位置付け、境内のバリアフリー化を中心に記念の諸事業を進めております。何分この重要な記念事業には相当高額の経費を要する見込みでありますので、一期に分けて計画させて頂きました。

時節柄尚に厳しい時ではありますが、引き続き、何卒本事業が達成されますよう本会の志すところを十分ご賢察賜り、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の各6地区の氏子の皆様方を始め、崇敬者各位の格別のご篤志を仰ぎ絶大なご奉賛を切に懇願申し上げます。

氏子崇敬者各位

大宮八幡宮奉賛会

記念事業の主な概要

- ◇第一期事業
 - 一 御社殿北側バリアフリー化整備
 - ・スロープ設置工事
 - 一 外拝殿南北西石階段バリアフリー整備
 - ・擬玉珠付高欄(檜材)増設工事
 - ・クネット手摺り設置工事
 - 一 銅板屋根掛工事・翼廊
 - 一 御社殿内拝殿御帳・外拝殿及び神門門帳の新調
 - 一 表参道大幡ポール(二対)設置工事
 - 一 南参道鳥居扁額・補修工事
 - 一 弓道場振武殿改修工事
 - 一 結婚式場清涼殿階段バリアフリー整備
 - 一 階段クネット手摺り設置工事
 - 一 結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事
 - 一 結婚式場清涼殿ロビー・階段カーペット張替工事
 - 一 祭典費・記念品費・事務費等諸経費 合計九、九〇〇万円
 - ◇第二期事業
 - 一 結婚式場清涼殿バリアフリー整備
 - 一 エレベーター設置工事
 - 一 トイレ改修等バリアフリー付帯工事 合計五、四〇〇万円
- 総事業費一億五、三〇〇万円

※青文字の事業は、既に工事完了した事業です。

ご奉賛金の勸募

一口(一万円)以上ご奉賛の御方には、御社殿前を刻し永久に保存させて頂きます。また、一口以上ご奉賛の方々は芳名板(板札)にて受付後、随時お名前を掲出させて頂きます。



御方名を芳名板(板札)に掲出致します



総鎮座940年の石碑です
石碑に御方名を刻し、境内に保存・掲出

厄除開運大祈願祭(二番祈禱)

元旦の午前零時、神能「翁」の奉納に続き、その年最初の祈願祭である「厄除開運大祈願祭(二番祈禱)」が宮司奉仕により執り行われます。

この祈願祭にご参列希望の方は、新春初祈願祭の予約申込みを12月20日までに事前にお済ませの上、大晦日12月31日午後11時20分前にお済ませに神門横祈願受付で二番祈願祭参列受付票をご提示下さい。



新春初祈願 企業団体の祈願祭も

新春に当たり氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を連日ご奉仕させて頂きます。

又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。ご祈願の際は代表様・従業員の皆様もお揃いでご昇殿頂きます。この新春にお揃いでご祈願を受けられます。清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。

新春祈願・企業団体祈願をご希望の方は、社頭の申込書に必要事項をご記入の上、ご予約をお願い致します。

新春厄除祈願のご案内

厄年は、古來人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい一年に致しますよう。

平成二十八年厄年表(数え年)

男	厄			女	厄		
	前	大	後		前	大	後
平成5年生(24歳)	平成4年生(25歳)	平成3年生(26歳)	昭和51年生(41歳)	平成11年生(18歳)	平成10年生(19歳)	平成9年生(20歳)	
昭和51年生(41歳)	昭和50年生(42歳)	昭和49年生(43歳)	昭和32年生(60歳)	昭和60年生(32歳)	昭和59年生(33歳)	昭和58年生(34歳)	
昭和32年生(60歳)	昭和31年生(61歳)	昭和30年生(62歳)	昭和56年生(36歳)	昭和55年生(37歳)	昭和54年生(38歳)	昭和32年生(60歳)	
			昭和31年生(61歳)				

※大厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることが出来ます。

毎月お朔日参りに 月参り御幣守護

当宮では古くより朔日(一日)、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂くこと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参り「月参り御幣守護」のご祈願を奉仕しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。



大宮八幡宮

早春の行事

新春恒例の除魔神事、墓目の儀・大的式

初春の年頭にあたり、天下泰平・国家安泰を祈念する恒例の除魔神事、墓目の儀・大的式が、1月2日午前10時より宗家はじめ小笠原流一門の方々により奉仕されます。墓目は、矢先につけた墓蛙に似た鎧の形をい、鋭い風切り音により魔障を退散させます。大的式は、千五百年前、清寧天皇の御世に射を行った日本書紀の記述に基づき、公家・武家に伝わる重儀で、いずれも当宮の新春恒例の弓始めの神事です。当宮の授与品、厄除守護矢、鎧矢のグッズでもあります。



成人奉告祭ご案内

新年を迎え新たに成人したことをご神前に奉告する成人奉告祭を随時ご奉仕しています。ご祈願の新人の皆様には宮司揮毫の干支絵馬を、特別授与致しております。



古札焼納祭(とんど焼き神事)

1月15日、この日は小正月、古く宮中では清涼殿東庭で吉書(よしか)を焼く左義長の儀式が行われました。当宮では、月次祭に併せて古神矢・古神札等焼納奉告祭が行われ、続いて午前11時半より境内斎場にて焼納祭(とんど焼き神事)を斎行。参拝者の皆様よりお預りした御神札御守り、守護矢、注連縄等が積み上げられ、火籠(ひろう)神事によって熾(さか)された浄火によつて点火されます。燃えさかるお焚き上げの前で宮司以下祭員等が大祓詞を奏上、参列の皆様を始め氏子崇敬者各位の除災招福を祈ります。また境内では、当宮敬神婦人会(りんどう会)により「厄除ぜんざい」が振る舞われます。



とんど焼きにご協力をお願い

御神札等をお納め頂く際に全て点検・選別させて頂き、神社関係以外のもの・燃えないもの・有毒物質の発生恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰り頂いております。◆御守り・古神矢・古神札類(他の神社のもの)及び正月飾りのみお預かり致します。◆人形類は、別途ご社殿におきまして人形感謝祭を斎行してからお納め頂きますので、直接祈願受付所へお申し出下さい。(※但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません)

初天神祭

当宮境内社の大宮天満宮では1月25日午前10時より初天神祭を斎行します。学問の神様 菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。また、梅の香りが心を癒やす「梅ヶ香御守」が社頭に授与されます。この日、社頭祈願祭も併せて行います。



文化財防火デー 消防演習

昭和24年1月26日、世界最古の木造建造物である奈良・法隆寺の金堂が炎上し焼失しました。この日は文化財防火デーと定められ、当宮でも杉並消防署の協力により消防訓練を行っています。避難誘導通報連絡、初期消火のあと、当宮自衛消防隊・杉並消防署・杉並消防団第二分団・ボランティアの消防団による社殿への一斉放水が行われます。



節分祭(豆撒き神事)

節分は四季の変わり目で、立春の前日の節分が特に重視されました。悪疫邪気を追い払い追儺(ういな)行事は中国より渡来したもので、文武天皇の御宇に記述が見られます。当宮では2月3日午前10時より節分祭を斎行。桃弓・葦矢(あしや)で「天・

地・人」に潜む魔障を射る弓の神事を行い、社殿前にて当宮幼稚園園児が鬼に扮して邪気を祓う豆撒き神事も取り行われます。



大宮稲荷神社初午祭

和銅4年の初午の日に京都伏見の峰に稲荷大神が降りられました。この故事により全国の稲荷神社では初午祭が斎行されます。本年は2月6日午後1時より、大宮稲荷神社にて斎行。社前には百数十本の鮮やかな朱色の初午のぼりが建ち並び、のぼり奉納者・崇敬者が参列のものと祭典が斎行されます。また、兼務社の堀ノ内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社、境外社の谷中稲荷神社でも執り行われます。



初午のぼり奉納募集

お稲荷様は、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願の「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭に奉納賜りますよう、ご案内致しお願い申し上げます。一、朱色のぼり 一口三、〇〇〇円(出来れば二対二以上でお願い致します)のぼりには、御氏名(又は会社名)を入れさせて頂きます。



紀元祭並榎原神宮遙拝

今年は初代神武天皇が、崩御されてから二千六百年という式年の年にあたります。榎原神宮では4月3日に神武天皇二千六百年式年祭が斎行されます。当宮では毎年2月11日、建国記念の日(紀元節)の午前10時より神武天皇が大和榎原宮で即位されたその上を寿ぎ、皇室国家の繁栄・国運の隆昌と世界の平和をご祈念申し上げ紀元祭を斎行し榎原神宮を遙拝(かしばら)します。今年(皇紀二六七六年)です。



桜まつり

春先、大宮八幡宮を中心とする和田堀公園(旧境内)一帯は善福寺川沿いの数千本の桜が一面に咲き誇ります。当宮では、桜の開花に合わせて3月下旬から4月上旬に合わせ「大宮八幡桜まつり」を開催。期間中の土曜・日曜に限り、午後8時まで開門し、夜間参拝と桜満開の和田堀公園への通り抜けができます。また期間中の土曜午後6時より雅楽演奏「夜桜の神遊び(雅楽と神楽の夕べ)」を開催します。



鎌田宮司神職身分特級昇進を祝う会

「鎌田紀彦宮司の神職身分特級昇進を祝う会」が10月19日、明治記念館で催され、当宮役員総代、全国神職また立正佼成会庭野日鎌会長様ほか関係団体のご代表等350名の方々のご参集を賜りました。



「鎌田宮司は昭和32年京都國學院に入り、石清水八幡宮の寮で過ごされました。その時は小学6年生で草野球に入れて貰うなどしました。当時、お宮には鎌田姓が3人おられ、それぞれニックネームが付いていたのも大変楽しい思い出でした。國學院大学から明治神宮に奉職されるなど、その後のご経歴は紹介されましたが、大宮八幡宮は石清水の御分霊を奉祀され、先の御鎮座九百五十年式年大祭には私も献幣使として奉仕させて頂くなど大変ご縁のあるお社であります。鎌田宮司は八幡様の事を第一に考え、東京都八幡会、全国八幡宮連合の事にも大変気配りを頂いています。また他宗教との協力など広範な活動をされ、功績多大なものがあります」とエピソードなどを交えた懇篤なお言葉頂きました。

次に鷹司神宮大宮司の祝辞のあと全国八幡宮連合総理の穴井伸久宇佐神宮宮司により記念品の贈呈が行われ、さらに、職員を代表して幼稚園の青木教諭より宮司へ、また、りんどう会五本木副会長より宮司夫人へ、各々に花束が贈られました。続いて、大宮幼稚園父母の会岡村会長より宮司へ年長組園児109名による押絵の園長の姿(額入り)と記念のアルバムが贈られたあと、宮司より謝辞が述べられました。

鎌田宮司は「京都國學院時代、本宮の石清水八幡宮で2年間お世話になりましたが、その時の祭式の先生が田中総長様のお父上、文清宮司様でした。卒業の時、宮司様から『今は神主の仮縫いをしたに過ぎな

いのだよ。仮縫いを取るのには貴方自身なのだから頑張らなさい」と諭されたのを、ふと思いついて頂きました。振り返ればもう仮縫いが取れたかなと思いつきながらの五十余年でありました。今総長様のお話を伺ってそろそろ取れたのかなという気持ちも致しております。自分の生まれた八幡様、修行をした八幡様、そして大宮八幡宮への奉職。ご神縁の深き繋がりをつくづく感じるところであります。今回の昇級は、私自身、そして家の誉れであり、皆様のご厚情にお報い致すべく一層のご神威の発揚に努めたいと思っております」と感謝の言葉を述べました。

次いで江戸消防記念会の千秋萬歳のあと清興として日本能楽会会長、観世流能楽師の野村四郎師により百葉の長たる酒を讀み、長寿延命を願う祝言の曲、舞囃子「狸々」が舞われました。

このあと本社本行副総長・小串和夫熱田神宮宮司の発声により丹波篠山産黒大豆ワインで乾杯、祝宴に移りました。

和やかな懇談のあと当宮五本木徳治責任役員による手締めが江戸消防記念会の木遣りの発声のもとに、格調高く素晴らしく目出度く納められました。

その後、友人の長田神社藤原正克名譽宮司の閉会の辞で祝う会を午後2時30分に閉じました。



園児達が取り組んだ園長姿図

杜の話題

秋の大宮八幡祭り斎行

夏の暑さも和らぎ、秋の気配を感じる9月、恒例の大宮八幡祭りが行われました。



まず15日は、午前10時に神社本庁より松山東京都神社庁長が献幣使として参向のもと例祭を斎行。秋の爽りの感謝と皇室国家の安泰と氏子崇敬者各位の隆昌発展を祈念いたしました。

次いで19日夕刻には、宵宮祭を斎行。翌20日は午前10時より氏子奉幣祭が執り行われ、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区の氏子より寄せられるご浄財が氏子幣として大前に奉獻されました。また、氏子各地区より神輿の社参が午前中より次々に行われ、夕刻午後6時には、神輿合同宮入りとなりました。今回は第30回という節目でもあり、発興地点を方南通り八幡入口に変えて表参道商店街を9基の神輿が順々に進み、神門内大前に練り込み、祭は最高潮に達しました。このほか20日午後には、小笠原流宗家による弓の神事草鹿式。19日には、大

宮幼稚園園児民謡踊り・方南エイサー踊り・杉並太鼓など様々な神賑行事が奉納されました。また9月9日より23日まで清涼殿ロビーでは、重陽の節句第17回菊被織りが展示されました。

高千穂大学新1号館竣功清祓

9月16日、お隣の高千穂大学の新1号館が、目出度く竣功となり、竣功清祓式が当宮宮司奉仕により斎行されました。昨年度鎮祭が行われてから氏神様の御守護のもと無事に立派に新校舎が建ち上がりまし

第15回十五夜の神遊び

秋の風物詩。仲秋の名月が皓々と輝く9月27日の夕刻、第15回十五夜の神遊びが開催されました。月の音舞台^{（注）}はおなじみの尺八奏者「きんはち」を迎え、の奉納演奏。虫の音もすだく境内に尺八の音色と相俟って、更に神前のご参列の皆様の手により火が入られた1200基の竹灯が、鎮守の杜を幽玄の世界に包み込みました。



理事長の閉宴挨拶と手締めにより会が閉じられました。

翌10月30日は都内視察研修となりました。午前9時、京王プラザホテルからバス2台に分乗して、靖國神社へ出発。本年は大東亜戦争終結七十年度の節目の年。午前9時30分、靖國神社参集殿で徳川康久宮司のお出迎えとご挨拶を頂き、一同拝殿にて修祓を受け、本殿へと昇殿し、穴井総理の玉串拝礼に合せて一同列拝、御英霊に対し真心からの感謝と慰霊の参拝を致しました。次いで遊就館を拝観しまし

午前11時に靖國神社を出発し、日の出棧橋に向かいました。11時50分にシンフォニーに乗船し、東京湾ランチクルーズの出航。鎌田都八幡会副会長の乾杯発声により昼食懇親会と

第37回杉並大宮菊花展受賞者

- | | |
|---------|-----------------|
| 宮司賞 | 倉本栄子（國華雪峰） |
| 杉並区長賞 | 五本木秀子（聖光金星） |
| 会長賞 | 榎田晃一（國華金山） |
| 責任役員賞 | 五本木徳治（國華越山） |
| 京王電鉄賞 | 青木弘次（天女花絵） |
| サミット賞 | 本橋利夫（大宮の雪） |
| サミット賞 | 中村幸之輔（國華金山） |
| みどりの会賞 | 佐久間亨（太平の光風） |
| 審査委員長賞 | 大和田容三（國華越山） |
| 末柄賞 | 倉本晴雄（國華金山） |
| 藤枝賞 | 青柳和昌（砧の紫雲） |
| 八幡通の商業賞 | 高橋住雄（懸崖） |
| 金賞 | 三上義昭（國華太上） |
| 金賞 | 山田恭一（國華発祥） |
| 金賞 | 松尾和雄（國華強大） |
| 銀賞 | 受賞者7名、協力賞 受賞者2名 |

明治神宮崇敬会

中原支部婦人部参拝

11月4日、明治神宮崇敬会中原支部婦人部の30名の方々が正式参拝されました。一行はその後、当宮の総合結婚式場清涼殿2階、羽衣の間にて婦人部総会が開催され、和やかに総会次第を進められた様子で、やがて、次の訪問先へ向かわれました。



杉並区神社総代会総会・日帰り参拝旅行（靖國神社）

10月20日、杉並区神社総代会（会長五本木当宮役員）総会・日帰り参拝旅行が開催されました。参加者は60名。まず、午前8時バスで杉並公会堂を出発し大宮八幡宮を経由して、秋の大祭斎行中の靖國神社に向かいました。啓照館で総会を開催、ついで遊就館を拝観後昇殿して正式参拝。浅草ビューホテルで昼食を取り、浅草寺を参拝後境内や仲見世通りを散策しました。その後水上バスに乗船し、隅田川十二橋巡りの後、浜離宮棧橋より恩賜庭園を散策して、午後5時半に帰着となりました。

全国八幡宮連合の研修会当宮で

八幡大神をお祀りする全国の神社が集う全国八幡宮連合の第36回研修会が東京都八幡宮の主管により10月29日、30日の両日、全国より百余名が参加して当宮で開催されました。防衛省統合幕僚長の講演や靖國神社参拝などが行われました。

29日午後1時30分、神前に於て研修会開催奉告正式参拝が行われ、穴井総理が玉串を奉りて拝礼、参列者一同が列拝しました。社殿前にて記念の集合写真撮影のあと、清涼殿を会場に午後2時半より研修会を開催。まず、東京都八幡会副会長の当宮鎌田宮司が「東京都八幡会は昨年の八幡連合創立60年を期し連合傘下に加わりました。その



全国八幡宮連合 第36回研修会 平成27年10月29日 大宮八幡宮

神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式



11月9日、氏子・崇敬者や全国の立正佼成会会員の方々に神宮大麻頒布並びに氏神神社神符等奉戴式が行われました。

五本木責任役員を始め、総代及び各兼務社の役員、立正佼成会神札頒布責任者の小松延江様らのご参列のもと、神宮大麻を始め各氏神大麻・大宮三宝荒神などの神札類の奉戴始めを大神様に奉告後、参列のご代表が各々奉戴致しました。12月中旬より神職が各ご家庭にお伺いして神宮大麻を始め各氏神大麻・大宮三宝荒神などの神札等をお頒ち致します。ご希望の方は当宮社務所、若しくはお近くの当宮責任役員・総代にお申し出下さい。新年には各ご家庭や会社の事務所の神棚に新しい御神札をお祀りして清々しく新年を迎えましょう。



秋の実りに感謝 新嘗祭齋行

11月23日、新穀を大神様にお供えし一年の収穫を感謝する新嘗祭が執り行われました。責任役員総代、りんどう会役員他の参列のもと、午前9時より宮司以下祭員奉仕により大祭式にて齋行され、園内の稲田で当宮幼稚園園児らが田植えや稲刈りをし丹精込めて育てた初穂や、JA東京杉並支部など氏子崇敬者の篤志家の方々から献納された穀物や野菜果物などが庭積神饌として大前にお供えされました。



ふなっしー来る

11月30日、青空も澄んだ絶好の撮影日和の一日、ふなっしーが2時間ドラマのロケで当宮を訪れました。大宮稲荷神社のあたりで約2時間にわたってドラマの1シーンを何回も撮影していました。「ふなっしー探偵」は新春1月7日にフジテレビで放送の予定です。



第25回杉並花笠祭り

師走の風物詩である杉並花笠祭りが12月12日に開催されました。今回25回目となる花笠祭りは、前日の大雨も上がり、穏やかな快晴の日となり、サミット(株)・(株)サミット・(株)大宮八幡宮の主催で行われ、表参道では花笠踊りのパレードが練り歩き、山形県の郷土料理である芋煮や御神酒などが振る舞われました。山形産の農作物や特産品の露店が立ち並び、午前10時から午後3時まで約3万人の参拝者で賑わいました。



りんどう会だより

りんどう会研修旅行

11月12日、第9回りんどう会研修旅行が開催されました。今回は秩父路。先ず一行31名は武蔵国三天宮の一つ秩父神社を正式参拝。名工・左甚五郎の彫刻が鮮やかなご社殿、秩父夜祭りの笠鉦・屋台などを納める秩父まつり会館を見学。長瀬「長生館」にて秋の旬の和食膳の昼食を頂き「花園フォレスト」にてスイーツと庭園散策を堪能しました。



氏子青年会だより

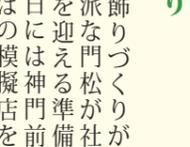
表参道注連縄張り

9月12日、秋の大祭を控え早朝より注連縄張りが行われました。方南通りや表参道商店街の両側、神輿合同宮入の渡御巡行道筋を飾りつけて秋祭りの雰囲気を高めました。



門松・松飾りづくり

年末恒例の門松・松飾りづくりが12月27日に行われ、立派な門松が社頭に飾り付けられ新年を迎える準備が整いました。新春元日には神門前にて振舞い酒と八幡そばの模擬店を出店の予定です。



戌の日早見表 (平成28年1月～5月)

1月	5日(火)	17日(日)	29日(金)
2月	10日(水)	22日(月)	
3月	5日(土)	17日(木)	29日(火)
4月	10日(日)	22日(金)	
5月	4日(水)	16日(月)	28日(土)



戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 母子共に安産祈願を！ ※戌の日以外でも随時お受けしております
 ご祈願の方には安産腹帯(大宮八幡息長帯)と共に、(その績)結ばれたお母様とお子様健康に「出産の時を迎えられます」との願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願給馬」を特別に授与しております。

大宮八幡宮 第二回フォトコンテスト入選作品発表

今回で第二回目となる大宮八幡宮フォトコンテストは、近隣の写真店にもご協力いただき、平成27年7月31日までに10名30点の作品が集まりました。杉本恭子審査委員長はじめ、宮司・審査委員の方々の厳正なる審査のもと、最優秀作品1点、優秀賞1点ほか各賞が選出されました。また、その他2名が入賞、10月2日に表彰式が行われました。当日は受賞者らが集い、杉本審査委員長を代表にまず正式参拝。次いで、大宮八幡宮清涼殿「亀の間」にて表彰式が行われました。各賞が次々に発表され、審査委員長より講評、各作品のポイントや撮影のコツなどが指摘されました。

最優秀賞 (最優秀賞)



大野貴義『祭りだワッショイ!』

審査委員長賞



永島政和『ちいさなお参り』

金賞



木幡英明『雨上がり』

銀賞



久保田佳子『一之鳥居、二之鳥居』

銀賞



岩井一真『菊綿を愛でる』

銅賞



堀内幸雄『新緑と鳥居』

銅賞



長谷川肇『手水場での儀式』

第三回フォトコンテスト作品募集中

当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂きます。平成28年の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、昨年引き続きフォトコンテストを開催致しております。

応募期間 平成27年10月1日～平成28年7月31日

Aコース…2Lサイズ部門
Bコース…4ツ切サイズ部門

大宮八幡宮に關係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。両コース共に、写真店での現像にてご応募下さい。(入5点まで)

応募作品についての注意事項は、社頭やホームページ上にて要項をご確認下さい。

協力写真店

ホッタカメラ本店(浜田山)
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)
カメラハウス本店(久我山)
ストックワーク(中野)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとします。展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。)

ひのえさる

平成28年丙申歳 迎春

すがすが
新年にはご祈願をお受けになり、清々しい一年に致しましょう

平成28 丙申年 元旦零時 神能「翁」・厄除開運大祈願祭（一番祈祷）齋行



元旦零時、宮司による初太鼓



観世流の新春を寿ぐ神能「翁」



おきながす
息長鈴による鈴振り神事

清々しい初日の出を迎え、多くの参詣者で賑わうご社頭



一年の幸せを祈る



立正佼成会 川端理事長他役員御一行



小笠原流新春除魔神事
ひきめ
墓目の儀



授与所にて新年の御守を受ける参拝者



表参道の賑わい



幸福撫でがえる石にも続々と

大 宮 第104号
平成28年 新春号
 平成28年1月1日発行
大宮八幡宮社務所
 〒168-8570
 東京都杉並区大宮2-3-1
 電話 (3311)0105 FAX(3318)6100
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



しあわせ
幸福がえる守



しあわせ
幸福なでがえる守



からまもり
勝御守



えんむすび守



こうつうあんぜんまもり
交通安全守

新春の
代表的な授与品



しあわせ
幸福がえる絵馬



しんしんけんぜんまもり
心身健全守



やすんまもり
安産御守



やくじまもり
厄除守



せんしつどすず
千支土鈴